

ひでん

# 秘伝！

さくぶん

とらのまき

# 作文 虎の巻

さくぶんめいじん

作文名人になろう

## 目次

- 一、 文の骨作りの術 ぶん ほねづくり じゆつ
- 二、 文を太らせる術 ぶん ふとらせる じゆつ
- 三、 文に服を着せる術 ぶん ふく きせる じゆつ
- 四、 文の分身の術 ぶん ぶんしん じゆつ
- 五、 文を文章に格上げする術 ぶん ぶんしょう かくあげ じゆつ
- 六、 身だしなみチエツクの術 み ぶん あじわう じゆつ
- 七、 文を味わう術 ぶん あじわう じゆつ

## 修行一、文の骨作りの術

だれが（なにが）、どうした（どんなだ）の練習じゃ！

例 わたしは、早起きました。

・ぼくは、つかれました。

・アサガオが、さきました。

☆今日の朝の出来事を書いてみよう！

だれが（何が）【 】

どうした（どんなだ）【 】

## 修行二、文を太らせる術

修行一で作った骨（だれが、どうした）に、「いつ」、「どこで」、「な

にを」、「なぜ」などを足して、わかりやすい文にする練習じゃ！

例 わたしは、今日の朝、暑かったので、早く起きました。

ぼくは、昨日、草むしりを手伝ったので、つかれました。

☆修行一の文を太らせよう！

## 修行三、文に服を着せる術

さらに、「どんなふう」「どのくらい」など様子を表す言葉や会話  
文を使って分をグレードアップする練習じゃ。

たとえの表現・・・まるで○○のような（みたいな）

例 まるでプロ野球選手のように、まるで魚になったみたい

擬態語・擬声語・音や声をまねて表した言葉や様子や身ぶりなど  
を感覚的に表した言葉

例 ザーザー、きらきら、ゴロゴロ、ほっそり、ぐったり、

大きさなどを表す言葉・・・○○くらい

例 消しゴムくらいの石、ぼくの手くらいの葉っぱ

会話の引用・・・」（かぎっこ）を使い、登場人物の会話を使う。

例 「おはよう。」「ありがとう。」「やったー」

※注意「」は一マスに一つ書きます。

## 修行四、文の分身の術

書きたいことを決め、いろんな言葉を使って、たくさん文をつくりだすのじゃ。

☆まずは、何を書くのか決めるのじゃ。

書きたいことは何かな？

例 野球でホームランを打ったこと

・家族でプールへ行ったこと

・お母さんのお手伝いをしたこと

・友達とけんかしたこと

☆次は、思ったことを書くのじゃ

したこと、見たことだけでなく、自分の思ったことを書くのじゃ。

例 ぼくは、心のそこからやしいと思いました。

・わたしにとって、忘れられない一日になりました。

・二度とけんかなんかしないと心にちかいました。

## 修行五、文を文章に格上げする術

修行四で作った文をならべかえて、さくぶん 作文を仕上げるのじや。

書き出しと結びは大事じゃぞ！じかん 時間の流れの順や、おもった 思ったこと、かんそう 感想などの配置をよく考えるのじや。

さらに、だいいい かつこいい題名をつければ、さくぶん すばらしい作文の完成じゃ！  
おもわずよんで 思わず読んでみたくなる題名を考えてみよう。

例 はじめて 初めてのホームラン

ながい ぼくの長い一日

おわった やつと終わったお手伝い

けんちゃん、ごめんね

## 修行六、身だしなみチェックの術

もういちど もう一度見直して間違いがないか確認するのじや。

・ いちぎょうめ 一行目はかつこいい題名

・ にぎょうめ 二行目は名前

・ さんぎょうめ 三行目は一マスあけて書き出す。

・ かんじ できるだけ漢字を使う。

・ 「です。」「ます。」「の文か、「だ。」「である。」「の文かどちらかにそろっているかな。

修行せ、文を味わふ術

声に出して読んでみるのじゃ。

誰かに聞いてもらって感想を聞いてみよう。

よく修行に耐え抜いたな。

君はきょうから作文名人じゃ！

自信をもちつてどんどん作文を書くのじゃぞ